

総務

総合政策部・総務部・
会計課・消防本部 等

(各常任委員会の所管部署)

枠配分子算編成導入で 歳出削減効果は

【一般会計決算】

総務費の財政管理費では、枠配分子算編成導入による効果について質疑があり、平成17年度予算から導入したが、初年度は、過去3カ年の決算ベースで平均化し枠配分して、6億円が削減された。翌年度以降は、おのこの前年度予算をベースにすることで、拡大を抑えることにつながっているとの答弁がありました。

財産管理費では、本庁舎の耐震状況について質疑があり、本庁舎は築37年を経過する状況で、耐震診断の結果、問題があるということ、庁舎耐震化の設計業務を委託した。今後、耐震補強にするか、免震にするか、新築にするかなど、老朽化した設備への対応



▲ 真夏の夜を彩る戸田ふるさと祭

も含めて検討していききたいとの答弁がありました。

行政振興費では、ふるさと祭りの意義や特徴について、原点に戻って、検討してほしいとの意見。ふるさと祭り実行委員会任せではなく、経験者を含んで、将来のビジョンを語れるような組織を持つ必要があるのではないかとの提言がありました。

レポート

ついて、各常任委員会で審査が行われました。各委員会で出された意見や要望の概要です。

文教・建設

都市整備部
教育委員会

安心・安全な 学校生活のために

【一般会計決算】

教育費の学校管理費では、小中学校の劣化調査報告書について、よくできた報告書であり、今後しっかりと活かしてほしいとの要望があり、執行部からは、調査報告書を踏まえて、校舎の存続を高めていきたい、との答弁がありました。

こどもの国運営費では、利用者が多いが、施設が老朽化しているため、内装だけでも新しくできないか、との意見や、都市化された本市において、今後、緑もあって、子ども達が気軽に楽しめる場所を、新たに作ることは難しいので、しっかりと維持管理してほしい、との要望がありました。

た。

土木費の道路巡回業務について、執行部からは、平成19年度には、更に巡回する回数を増やしている、との説明があり、委員からは、市民の安全を守るために、しっかりと巡回して、危険な箇所を市民が通報する前に発見してほしい、との要望がありました。



▲ すいかドームで有名なこどもの国

健康福祉

福祉部
福祉事務所
医療保健センター

健康な生活に向けて 病気・介護予防を

【一般会計決算】

衛生費の保健衛生費では、地域医療体制強化費である一次、二次救急の充実を図りつつ、病気予防に力を入れていくとの説明がありました

【一般会計補正予算】

基本健康診査の通知をもっと拡大するよう要望があり、平成20年度の法律改正に向けて検討しているとの答弁がありました。また、来年度からは健診内容がメタボリック関係に重点が置かれるとの説明もありました。

【高齢者総合介護福祉条例の一部改正】

福祉入浴券事業の制度内容の見直しにより、福祉入浴券がカード化されるようになり、利用施設の偏在や不正防止について質疑を交わしま



▲健康づくりふれあい事業…元気をいただけます

した。

【敬老祝金贈呈条例の一部改正】

敬老祝金の贈呈金額を見直し、新たに生み出された予算で元氣高齢者施策として「いいいの室」の充実及び一般高齢者に対する介護予防事業を実施する案に対し、多くの方が気軽に利用できるよう事業内容の検討が必要との意見がありました。

18年度 決算審査

委員会

今定例会では、平成18年度決算を初め、補正予算などの議案に

市民生活

市民生活部
水道部
農業委員会

tocoバス

美笹循環の車両見直しを

【一般会計決算】

tocoバスの18年度乗車人員を比較すると、西循環の約8万7000人に対して、美笹循環は約2万2000人。一方、運行経費は、西循環が約1960万円、美笹循環が約1920万円と、ほぼ同額になっている。経費の点、また、美笹循環のワゴン車の使い勝手から考えて、小型バスへの転換を検討してもらいたいとの意見が出されました。

土に親しむ広場では、景観形成推進員を募集するのではなく、広場の利用者が、自主的に日にちを決めて除草などを行い、地域の中の潤いの場とする



▲運行開始後、丸4年を経過する美笹循環

ことが大事ではないかとの意見が出されました。昨年7月に開設した地域職業相談室については、東京都内の求人情報も見られること、マザーズも対象となることを広めてもらいたい、また、地域職業相談室を、駅のそばに設置する等、町中に設置することを考えてはどうかとの意見が出されました。